

議案第 2 号

職員の特殊勤務手当に関する規則の一部改正について

令和 2 年 2 月 27 日 提出 岩手県人事委員会 委員長 熊谷 隆司

1 趣旨

家畜伝染病予防法の一部改正に伴い、防疫等作業手当の支給対象となる感染症等のうち、「豚コレラ」の名称について、所要の改正をしようとするものである。

2 規則案の内容

防疫等作業手当の対象となる「豚コレラ」の名称を「豚熱」に改めること。
(第 4 条関係)

3 施行期日等（附則関係）

公布の日から施行し、この規則による改正後の職員の特殊勤務手当に関する規則の規定は、令和 2 年 2 月 5 日から適用すること。（附則関係）

職員の特殊勤務手当に関する規則の一部を改正する規則をここに公布する。

令和 年 月 日

岩手県人事委員会
委員長 熊 谷 隆 司

岩手県人事委員会規則第 号

職員の特殊勤務手当に関する規則の一部を改正する規則

職員の特殊勤務手当に関する規則（昭和31年岩手県人事委員会規則第65号）の一部を次のように改正する。

改正前	改正後
<p>（家畜の伝染性疾病の種類）</p> <p>第4条 条例第4条第2項に規定する人事委員会の定めるものとは、次に掲げるものとする。</p> <p>（1）～（8） [略]</p> <p><u>（9） 豚コレラ</u></p> <p>（10）～（17） [略]</p>	<p>（家畜の伝染性疾病の種類）</p> <p>第4条 条例第4条第2項に規定する人事委員会の定めるものとは、次に掲げるものとする。</p> <p>（1）～（8） [略]</p> <p><u>（9） 豚熱</u></p> <p>（10）～（17） [略]</p>
<p>備考 改正部分は、下線の部分である。</p>	

附 則

この規則は、公布の日から施行し、この規則による改正後の職員の特殊勤務手当に関する規則の規定は、令和2年2月5日から適用する。

職員の特殊勤務手当に関する規則の一部改正について

1 改正の趣旨

家畜伝染病予防法の一部改正に伴い、特殊勤務手当のうち防疫等作業手当の支給対象となる感染症等として、職員の特殊勤務手当に関する規則（昭和31年人事委員会規則第65号）で指定している疾病のうち、「豚コレラ」の名称を「豚熱」に変更しようとするもの。

2 特殊勤務手当の趣旨

職員の勤務が著しく危険、不快、不健康又は困難な勤務その他の著しく特殊な勤務と認められるものに従事する職員に対して、勤務の特殊性に応じて支給するもの。

一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例において、勤務の特殊性に応じて、現在38種類の手当が規定されている。

3 防疫等作業手当の概要

(1) 支給要件（条例第4条第1項及び第2項）

職員が、感染症等が発生し、若しくは発生するおそれがある場合又は犬による危害のおそれがある場合において、次に掲げる作業又は業務に従事したときに支給する。

⇒ 感染症等の患者若しくは感染症等の疑いのある患者の救護若しくは感染症等の病原体に汚染された物件若しくは汚染の危険がある物件の処理作業又は感染症等の病原体を有する家畜若しくは感染症等の病原体を有する疑いのある家畜に対する防疫作業

〈感染症等〉

- 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第6条第1項に規定する感染症（四類感染症及び五類感染症を除く。）
- 狂犬病予防法第2条第1項及び第2項に規定する狂犬病
- 家畜伝染病予防法（昭和26年法律第166号）第2条第1項に規定する家畜伝染病その他の家畜の伝染性疾病（寄生虫病を含む。）で人事委員会の定めるもの

人事委員会で定めるもの（規則第4条17種類）：口蹄疫、流行性脳炎、狂犬病、炭疽、出血性敗血症、ブルセラ病、結核病、鼻疽、豚コレラ、高病原性鳥インフルエンザ、低病原性鳥インフルエンザ、破傷風、レプトスピラ症、サルモネラ症、野兔病、トキソプラズマ病、豚丹毒

※ 下線は国と同じ。なお、豚コレラを追加する改正は、平成31年5月に施行。

- 検疫法（昭和26年法律第201号）第2条に規定する検疫感染症

(2) 支給額（条例第4条第3項、規則第5条）

手当額は、作業又は勤務1日につき380円の範囲内で人事委員会の定める額とする。

作業対象	日 額
条例第4条第1項第1号の作業及び同項第3号の業務 （感染症等の患者の救護、感染症等の病原体に汚染された物件の処理、 <u>感染症等の病原体を有する家畜の防疫作業</u> 、在宅結核患者の家庭を訪問して行う指導）	作業又は勤務1日につき 290円
条例第4条第1項第2号の作業及び同項第4号の業務 （狂犬病予防法に基づく犬の捕獲又は処分） 動物の愛護及び管理に関する条例に基づく犬の捕獲、処分又は薬殺	作業1日につき380円

4 家畜伝染病予防法の一部改正の概要

(1) 改正の概要

ア 法第2条第1項の表20の項中、「豚コレラ」を「豚熱」に改める等の改正が行われたこと。

[理由]

国際機関において用いられている名称に即した名称にするため

イ その他家畜の伝染性疾病の発生の予防、まん延防止の措置に係る所要の整備

(2) 施行日

公布日施行（令和2年2月5日 公布）

5 規則の改正内容

規則第4条第1項第9号の「豚コレラ」を「豚熱」に改正すること。

6 施行日等

公布の日から施行し、この規則による改正後の職員の特殊勤務手当に関する規則の規定は、令和2年2月5日から適用する。